

1 ファカルティ・ディベロップメントの概要

1. 実施報告

本委員会における主な活動は「授業評価」「授業公開」「FD勉強会」の3点である。2020年度は国内新型コロナウイルス感染防止対策のため、本学のFD活動においてもその対応を迫られることとなった。

学内での教学マネジメント構築における具体的取り組みを促進する全学教育推進会議から本委員会への要請を受けて新たな取り組みも行った。その一つとして、過去3年分の授業評価アンケートの集計結果の一部を本学HPに公開した。また、教育担当副学長から本学の教員（非常勤講師を含む）を対象とした遠隔授業及びハイフレックス型授業についてのアンケートの依頼があり、それぞれ前後期授業終了後に計2回実施した。一部、IR課からの協力・支援を得て集計を行い、分析結果を運営会議、理事会で報告した。また、翌年度以降の授業運営や教室環境改善の取り組みに反映された。

授業評価の中心的な取り組みである「学生による授業評価アンケート」は、総合教育システムを使用してWebで実施した。Webによる授業評価アンケートの実施はこれまでも本委員会の検討事項であったが、2020年度に初めて実施することとなった。アンケート結果に基づく教員の学生へのフィードバックコメントの提出は、例年通りアンケートフォームを使用した。

授業公開に関しては、昨年度と比して2週間遅れのスケジュールで、おおむね昨年度と同じ内容で実施した。原則すべての授業を対象としたが、ネイティブの教員との英会話を主とする「コミュニケーション演習」においては、業者委託による授業であるという事情から対象外とした。後期はハイフレックス型もしくは分散型の授業方法となったため、直接教室で参観するかZoom等ビデオ会議アプリケーションから参観するかを授業担当者が判断し、授業見学の希望者に伝えることをルールとした。この授業公開の実施は、授業評価アンケートの結果を授業改善に活用する重要な機会であると考えている。

全学で実施している「FD・SD研修会（大学問題研究会）」では、後期からの主要な授業形態となるハイフレックス型の導入を踏まえ、昨年度よりも前倒ししての開催となった。2020年10月22日（木）（15：00～16：30）に早稲田大学人間科学学術院の向後千春教授に「オンライン授業のデザインと実施の工夫」のテーマでZoomにてご講演いただいた。講演中はチャットを活用して質問や意見を募り、適時、参加した教員からの投稿があった。また講演後のアンケートにも多くの意見が寄せられ、今後もこのような研修を実施してほしいとの声が多数あった。本学教員のオンライン授業への関心の高さがうかがえた。

例年実施している授業に関する学生・教員交流会は、学生主体のFD活動として、2021年2月3日（水）15：00-17：00に「本音で語って！Zoom授業のリアル」のテーマで開催した。各学科から選出された学生計27名とFD委員を含む教員12名の参加があった。

FD・SD活動の一環として、遠隔授業の準備として、2020年4月に本学教員（非常勤講師を含む）を対象に、教育担当副学長、企画担当副学長、情報センター長を講師としてZoomや総合教育システムの使用方法を中心とした説明会を開催した。